



# 奈良県感染症情報

平成 29 年 第 2 週( 1 月 9 日～ 1 月 15 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザ注意報発令です！

### 今週の概要

- 小児科外来情報
- 平成 28 年 12 月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	12.43	(5.54)	↑↑↑	↑↑↑	↑	↗
2	感染性胃腸炎	3.09	(2.41)	↓	↓	↓	↓
3	流行性耳下腺炎	1.09	(1.09)	↘	→	↓	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	1.06	(0.65)	↘	↘	↘	↘
5	RS ウイルス感染症	0.76	(0.82)	↘	↘	↘	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザが急増しています。定点当たり報告数が前週から倍増し、注意報開始基準値「10」を超えましたので、インフルエンザの注意報が発令となりました。今後、更に急増して本格的に流行するとみられます。マスク・手洗い等の感染予防(かからないように)、咳エチケットによる感染拡大防止(うつさないように)を心がけてください。特に、小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫が低下している方では肺炎を伴う等、重症化することがあります。小児や高齢者がいる家庭や職場などに、持ち込まないようにする事が重要です。適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えるなども感染予防には重要です。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

正月休みで、直近 1 週間の状況です。インフルエンザが徐々に増えています。小学校高学年から成人が中心で、迅速では A 型です。感染性胃腸炎はほとんど無くなりました。幼児から小学生で流行性耳下腺炎が流行しています。咳や鼻汁がひどいかぜが成人で多くみられます。マイコプラズマではないようです。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

寒波の到来と共にインフルエンザが一気に増加してきた。家族一斉の例もあった。昨年一例 B 型があったが他はすべて A 型。元気そうな例でも陽性の事もあった。重症経過例はない。

流行性耳下腺炎が続いて流行中。

感染性胃腸炎も減少傾向の様であるが持続。ロタ陽性例はなかった。

咳嗽の例もありマイコプラズマの学童もあった。

他に A 群溶連菌感染症、アデノ、伝染性紅斑があった。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染性胃腸炎の流行は落ち着いてきた。RS ウイルス感染の流行は続いている。

3 学期が始まって A 型インフルエンザが増加、B 型も少数みられる。溶連菌感染も依然多い。ムンプスは減少。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 2 週 1 月 9 日 ~ 15 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部		
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野			
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3			
インフルエンザ	671 (12.43)	145 (10.36)	257 (18.36)	105 (9.55)	132 (13.20)	22 (11.00)	10 (3.33)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2		
RSウイルス感染症	26 (0.76)	3 (0.33)	7 (0.78)	8 (1.14)	6 (1.00)		2 (1.00)		
咽頭結膜熱	7 (0.21)		4 (0.44)	2 (0.29)	1 (0.17)				
A群溶連菌咽頭炎	36 (1.06)	1 (0.11)	7 (0.78)	2 (0.29)	23 (3.83)		3 (1.50)		
感染性胃腸炎	105 (3.09)	22 (2.44)	27 (3.00)	20 (2.86)	30 (5.00)	6 (6.00)			
水痘	11 (0.32)	1 (0.11)	4 (0.44)	1 (0.14)	4 (0.67)		1 (0.50)		
手足口病	3 (0.09)	2 (0.22)	1 (0.11)						
伝染性紅斑	1 (0.03)		1 (0.11)						
突発性発しん	15 (0.44)	6 (0.67)	1 (0.11)	1 (0.14)	7 (1.17)				
百日咳									
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)						
流行性耳下腺炎	37 (1.09)	10 (1.11)	14 (1.56)	5 (0.71)	4 (0.67)	1 (1.00)	3 (1.50)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0		
急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎	11 (1.10)	5 (1.67)	3 (1.00)		3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1		
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)						
無菌性髄膜炎	2 (0.33)		2 (1.00)						
マイコプラズマ肺炎	4 (0.67)		4 (2.00)						
クラミジア肺炎									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)									

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、郡山2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 侵襲性肺炎球菌感染症2件(郡山1、中和1) 梅毒1件(郡山1)

❖ 第 2 週のトピックス ❖

インフルエンザウイルス分離・検出状況(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/flu-m/flutoppage/1974-idsc/iasr-flu/6786-iasr-influ20160925.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

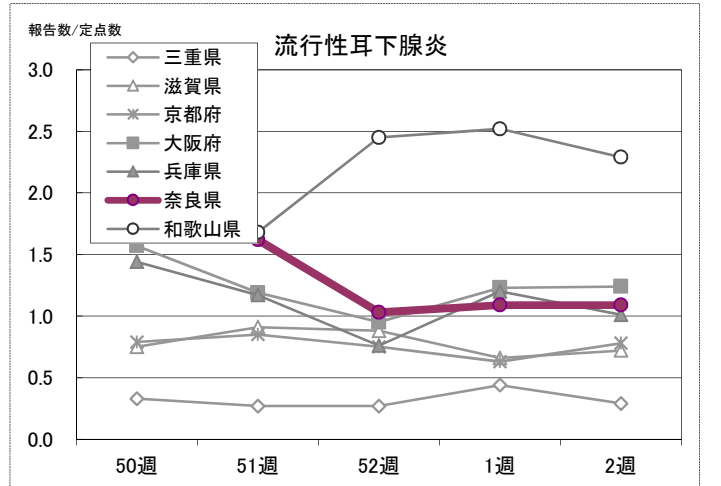
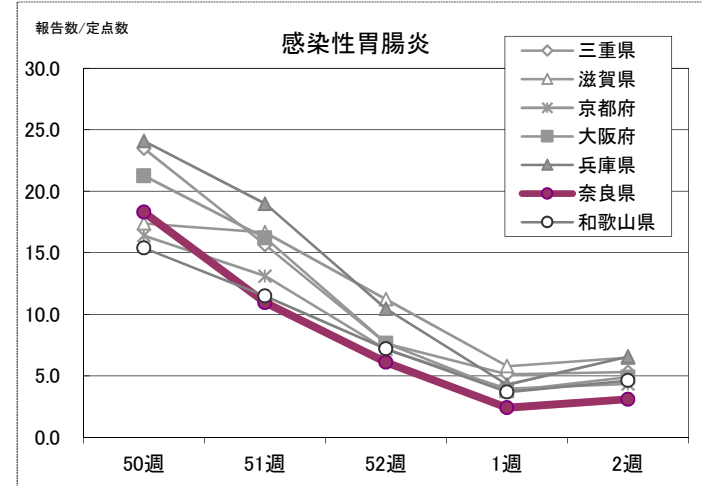
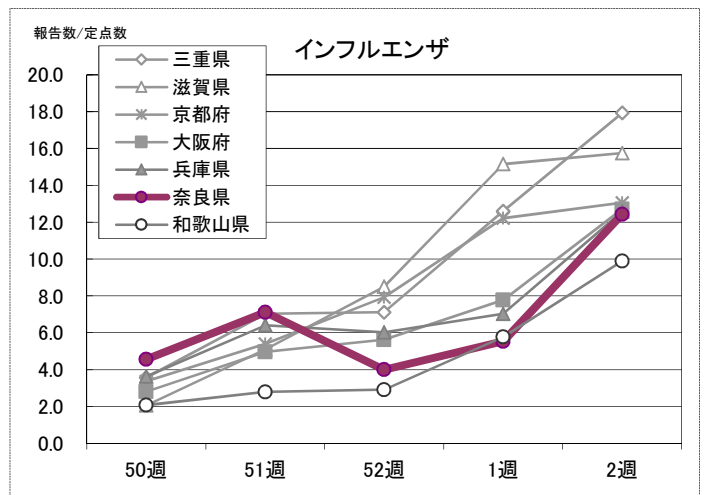
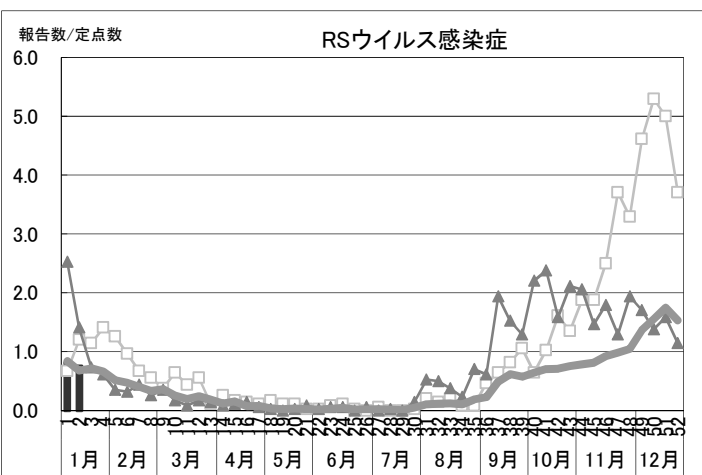
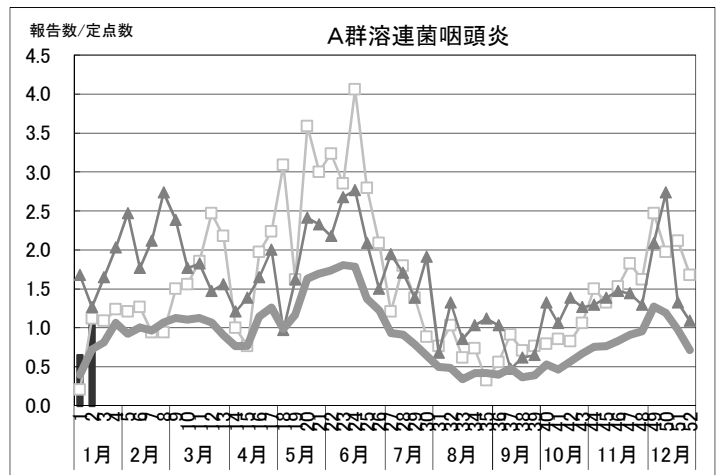
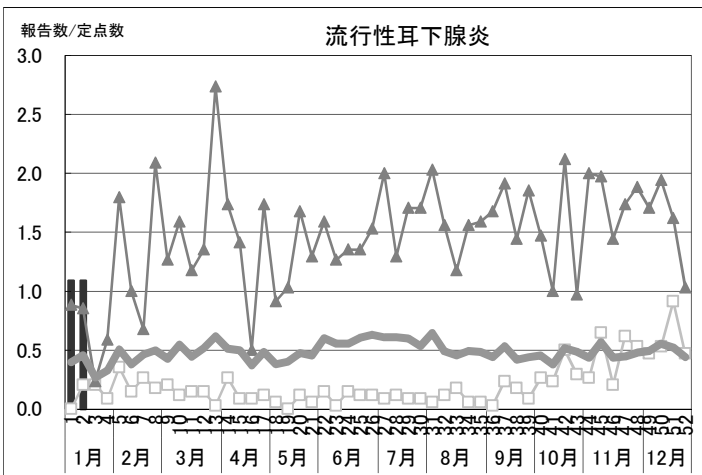
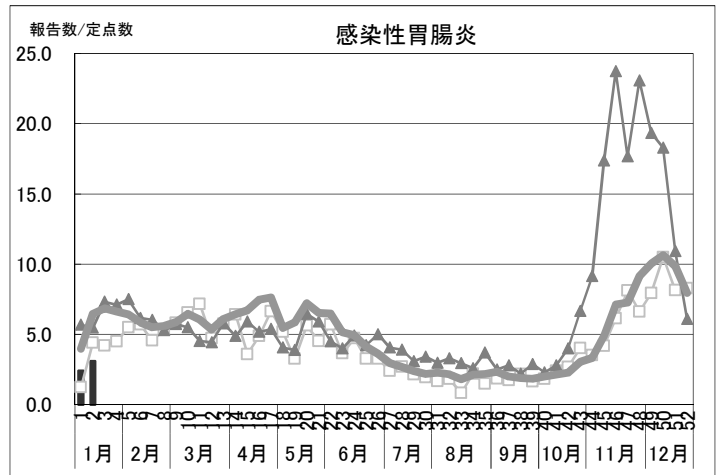
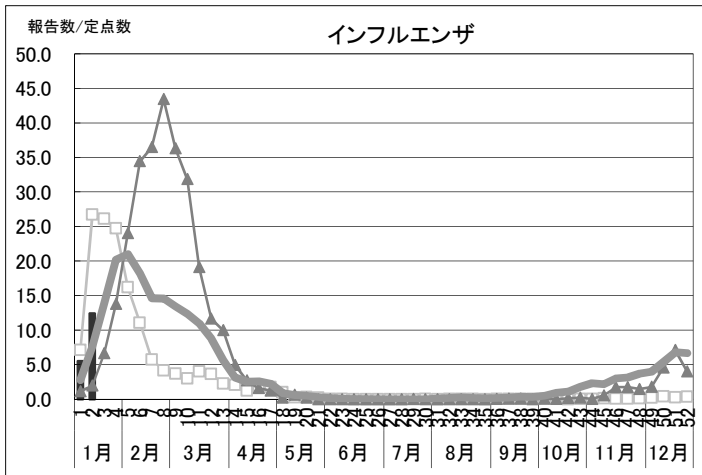
上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	2	15	10	12	11	15	15	8	8	8	30	79	39	24	28	14	14	14	5	352	490
	女		2	5	16	5	14	13	19	12	7	17	21	57	33	26	27	14	14	7	7	319	480
RSウイルス感染症	男		5	4	1	1			1													12	25
	女		8	3	2	1																	14
咽頭結膜熱	男			1	1			1				1										3	4
	女											1										4	8
A群溶連菌咽頭炎	男		1	1		2	1	1	3	6	2	2										19	28
	女			1	2	1	3	1	1	1	2	1	2		2							17	30
感染性胃腸炎	男	1	3	6	6	6	1	5	3	1	2	2	6	5	12							59	104
	女		1	5	4	2	4	2	3	1	5		7	3	9							46	83
水痘	男		1	3				1														5	10
	女					2		2				2										6	13
手足口病	男				1		1		1													3	5
	女																						2
伝染性紅斑	男										1											1	1
	女																						
突発性発しん	男		2	5																		7	8
	女		5	2		1																8	16
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男						1															1	1
	女																						
流行性耳下腺炎	男				1	4		4	1	1	2		2									15	31
	女				1	1	5	2	4	1	3	2	3									22	43
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男														2	1	1				2	6	7
	女															1			1		2	5	8
細菌性髄膜炎	男																					1	1
	女																					2	2
無菌性髄膜炎	男			1	1																		
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男		1	2																		3	4
	女		1																			1	4
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 12 月

	地域							年齢														合計	累計							
	奈良県	北部		中部		南部			0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59			60-64	65-69	70-				
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0	上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数														累計は、2016年1月からの累計								
性器クラミジア感染症	9 (0.82)	3 (1.00)	1 (0.33)	1 (0.50)	4 (1.33)	...	...	男								3										3	61			
								女				1			2	1	1	1									6	70		
性器ヘルペス	4 (0.36)		4 (1.33)			...	...	男								1										1	11			
								女										3								3	45			
尖圭コンジローマ	5 (0.45)	1 (0.33)	2 (0.67)		2 (0.67)	...	...	男																		1	26			
								女						3			1						1			4	29			
淋菌感染症	4 (0.36)	2 (0.67)			2 (0.67)	...	...	男									1									2	33			
								女								1	1									2	9			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢														合計	累計							
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	37 (6.17)	13 (13.00)	12 (6.00)	9 (9.00)	2 (2.00)	...	(1.00)	男	3	2							1							2	1	1	2	14	26	293
								女	1																			8	11	159
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14 (2.33)		12 (6.00)		2 (2.00)	...	...	男																				9	72	
								女		3																		4	5	26
薬剤耐性緑膿菌感染症						...	...	男																						
						...	...	女																						

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26

